

# 枚方にもとる七夕のあかり

## 天野川にともす600個の願い ゆめのほしフェスタでランタン流し

7月5日、アクセス天津橋周辺の天野川河川敷でゆめのほしフェスタが開かれ、音楽ステージやキッチンカーのグルメなどを楽しむ人でにぎわいました。日が暮れ始めた午後7時ごろからはランタンフローティングが開始。参加者は果物や動物など好きなものを描いたランタンに火をともし計約600個を放流しました。幼稚園に通う畑中陽詩さん(3歳・写真左から2人目)は少し照れながら「もっとクラスみんなと仲良くなりたい」と願いを込めて川へ流しました。



## 輝くランタン 輝く瞳

### ひらかたパークで七夕ランタンイベント

7月5日・6日、ひらかたパークで「七夕ランタンフェス 2025in ひらかたパーク ~願いを叶える夏祭り~」が開かれました。イベントの企画に合わせて浴衣姿の人でにぎわう中、会場の照明が消えオレンジ色のランタンが赤や緑、青など次々に色を変え輝くと、あちらこちらから感嘆の声が上がりました。城陽市から家族で訪れた若山夕桜さん(8歳・写真左から3人目)は「虹色に光ってきれいだった。これからメリーゴーラウンドに乗るのも楽しみ」と目を輝かせました。



▲枚方ボーイズ時代、試合で投げている様子(中学2年生)。

▼1学年離れた妹と枚方の自宅で。仲が良く、よく一緒に遊んでいました(6歳)。



▲当時通っていた藤田川保育所の裏にあった通称「どんぐり山」で。家族でもよく遊びに行っていました(5歳)

## 名物階段でのダッシュ

僕は中学時代まで枚方市で過ごしました。強いチームで野球をしたという思いから、全国大会で優勝の実績もある少年軟式野球チーム枚方ボーイズに入団しました。投手はバッテリー練習中にランニングメニューが別であるのですが、専用グラウンドには名物の階段があり毎週土日に20本くらい駆け登り、毎回タイムを測られるのでさぼることもできずきつかった思い出があります(笑)。

子ども時代にはひらパーにもよく行っていました。今では四児の父親として、帰阪時に子どもたちも連れて遊びに行くこともあり、時の流れを感じます。現在は千葉にいますので、なかなか地元にも帰ることも少なくなりましたが、自分にとっては心落ち着く場所です。もっともっと活躍して、枚方市を盛り上げることができればうれしいです。

# 枚方 思い出の1コマ

ひらかたかぞく

# 家族

枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語ります。

第74回

くによし ゆうき  
国吉 佑樹さん



プロ野球選手。196cmの長身から投げ下ろす速球で、昨年は24試合連続無失点と球団記録を更新した剛腕投手。桜丘小学校、桜丘中学校卒業。熊本・秀岳館高等学校から平成21年育成ドラフト1位で横浜ベイスターズ(当時)に入団。令和3年に千葉ロッテマリーンズへ移籍し活躍中。

## 編集後記

安全・安心な水を届ける仕組みや取り組みを紹介するため、初めて中宮浄水場へ。漠然と大きな建物だなと思っていた

ものが実はきれいな水を作るのに大切な役割を担っていると知り、ワクワクしながら職員の話に聞き入ってしまいました。



編集者 N